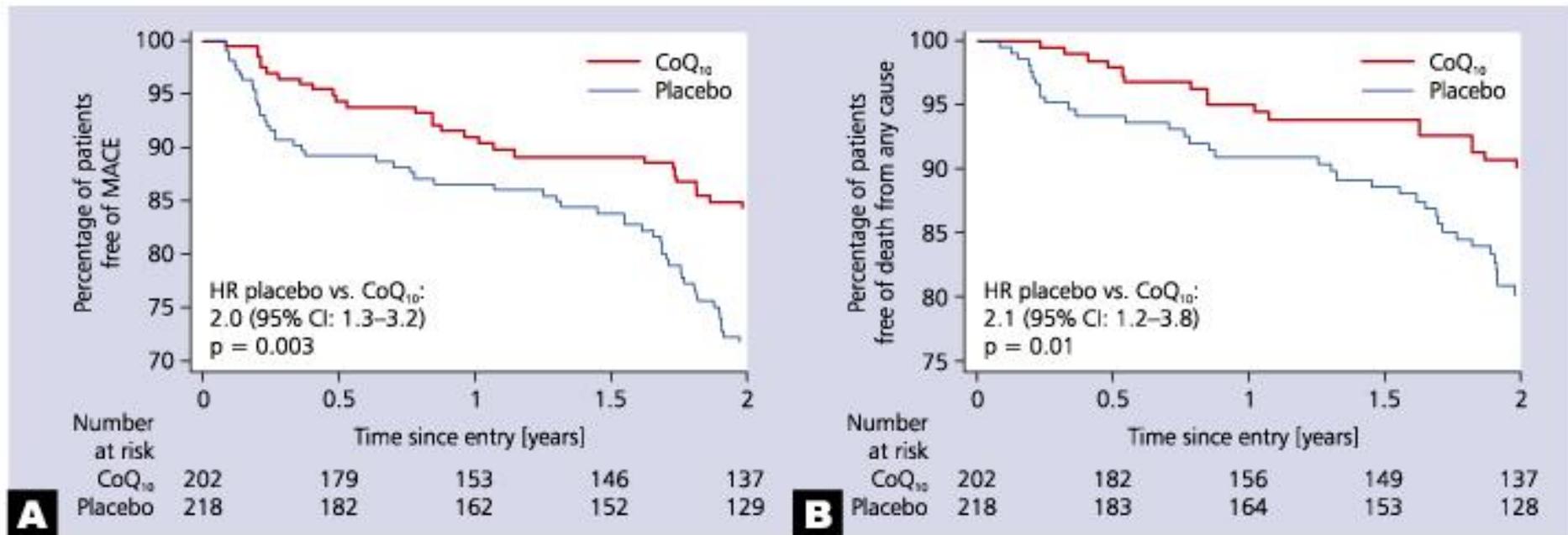


慢性心不全患者での症状、死亡率の改善（酸化型CoQ10） ～ Q-SYMBIO Studyの結果～



Kaplan-Meier法による主要な心血管系有害事象の頻度(左図)及び生存率(右図)の評価

- 試験デザイン: 二重盲検プラセボ比較試験 (豪州、欧州の17センター)
- 被験者: 標準薬物療法で治療中の420名(試験群202名、プラセボ群218名)の慢性心不全 (NYHA III or IV) 患者、その多くは駆出率が低下(平均EF値31%)、平均年齢 62.3歳
- 被験物質: ノイキノタイプのCoQ10 (100 mg) × 3回/日またはプラセボ
- プライマリー長期エンドポイント(MACE): 心不全悪化による計画外入院、心血管系死亡、緊急心臓移植・人工呼吸処置